



## 2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月3日

上場会社名 GMOリサーチ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3695 URL <https://gmo-research.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)細川 慎一  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役グローバル経営管理本部長 (氏名)森 勇憲 (TEL) 03(5962)0037  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年12月期第2四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	2,581	1.2	204	△22.4	220	△32.4	154	△37.1
2022年12月期第2四半期	2,551	36.8	263	71.9	326	87.8	246	92.1

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 172百万円(△35.6%) 2022年12月期第2四半期 266百万円(96.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	94.91	94.86
2022年12月期第2四半期	150.98	150.85

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	2,875	1,902	66.2
2022年12月期	3,072	1,908	62.1

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 1,902百万円 2022年12月期 1,908百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	0.00	0.00	0.00	109.14	109.14
2023年12月期	0.00	0.00			
2023年12月期(予想)			0.00	114.84	114.84

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	15.4	540	28.7	525	14.6	375	5.2	229.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年12月期2Q	1,677,000株	2022年12月期	1,677,000株
2023年12月期2Q	44,394株	2022年12月期	44,394株
2023年12月期2Q	1,632,606株	2022年12月期2Q	1,631,824株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その妥当性を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(会計方針の変更)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループの第2四半期連結累計期間(2023年1月1日~2023年6月30日)において、我が国経済は、雇用・所得環境の改善など緩やかに回復しておりますが、世界的な物価上昇や金融引き締め等による海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

マーケティング・リサーチ業界の世界全体の市場規模については、「Global Market Research 2022 (An ESOMAR Industry Report)」によると、2021年は\$118,798 million(前年比15%増)となり、拡大傾向にありました。

また、国内市場については、一般社団法人日本マーケティングリサーチ協会の「第47回経営業務実態調査」によると、2021年度の市場規模は2,357億円(前年比7.0%増)となりましたが、そのうちの当社グループの主力事業であるインターネットリサーチの市場規模については、前年比7.9%増と上向きな結果となっております。

このような経済・市場環境のなか、長期に渡る新型コロナウイルス感染症の影響で定着した「新しい生活様式」により、定量・定性マーケティング・リサーチのオンライン化のトレンドが継続しております。また、物価上昇の影響等により、顧客ニーズの把握を時間やコストを効率的に行えるDIY型のリサーチへのニーズの高まりがあり、当社グループが強みを発揮できる事業機会がさらに増大しております。

このような状況のなか、当社グループは、「想いを、世界に」の経営理念のもと、インターネットリサーチ事業におけるナンバーワンを目指し、事業に邁進してまいりました。

国内市場に関しては、DIY型リサーチシステムである当社プラットフォーム(GMO Market Observer)の機能及びサービス体制の強化を進めシェア拡大に努めるほか、オペレーション業務の標準化と顧客対応力の強化による生産性の向上に一定の成果が見えました。また、新型コロナウイルス感染症の影響で定着した「新しい生活様式」により増加している、対面式オフライン調査からオンライン調査への移行のニーズに応えるため、消費者へのインタビューによる定性調査を対面することなくオンライン上で完結できるサービスである「MO Insights」を提供しております。また、一般事業会社における手軽で簡素なリサーチニーズに対して、発注からアンケート完了までの一連の手続きをオンライン上で完結できる完全DIY型アンケート調査ツール「GMO Ask」を提供しておりますが、これにChatGPT APIを利用した「AI Report機能(β版)」を導入し、さらにAI活用機能である「調査票AIサポート(β版)」を搭載し、リリースいたしました。また、国内・アジア最大級の調査用パネルへのインタビューができるパッケージ型のオンラインインタビューサービスである「MO Lite インタビュー byGMO」を提供しております。

海外市場に関しては、顧客や競合他社によるアジア拠点の強化といった動きにより競争が激しくなるなか、顧客とのシステム連携の推進や品質の向上といった施策を講じ、アジアでの強みを発揮するとともに、国内市場と同様に「MO Insights」や、一般事業会社における手軽で簡素なリサーチニーズに対して、顧客が利用するDIY型(セルフ型)アンケートツールから、国内・アジア最大級の調査用パネルへのアンケート調査ができるサービスである「MO Lite アンケート byGMO」を提供しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,581,930千円(前年同期比1.2%増)、営業利益は204,088千円(同22.4%減)、経常利益は220,756千円(同32.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は154,956千円(同37.1%減)となりました。

事業のサービス別の売上高については、以下のとおりです。

#### ①アウトソーシングサービス

アウトソーシングサービスは、近年調査会社業界からの需要が拡大傾向にあるアンケート作成からローデータ・集計までのサービスを一括で受託するサービスです。当第2四半期連結累計期間においては、調査会社及び事業会社からの案件の受託本数が堅調に推移し、当サービスの売上高は、1,717,277千円(同4.3%増)となりました。

#### ②D. I. Yサービス

D. I. Yサービスは、当社が独自に開発したリサーチ・ソリューション・プラットフォーム(GMO Market Observer)を利用して、顧客自身がアンケート作成から集計までを行うサービスです。当第2四半期連結累計期間においては、当サービスの浸透により利用頻度が増加し、当サービスの売上高は、840,761千円(同0.8%減)となりました。

③その他サービス

その他サービスは、アウトソーシングサービスとD. I. Yサービス以外のオフラインリサーチサービス等となっております。当第2四半期連結累計期間においては、その他サービスの売上高は、23,891千円（同58.4%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、2,875,755千円となり、前連結会計年度末に比べて196,465千円減少（6.4%減）いたしました。主たる変動要因は、売掛金の減少220,658千円等であります。

負債につきましては、973,004千円となり、前連結会計年度末に比べて190,308千円減少（16.4%減）いたしました。主たる変動要因は、未払金の減少92,609千円、未払費用の減少46,977千円等であります。

純資産につきましては、1,902,750千円となり、前連結会計年度末に比べて6,156千円減（0.3%減）いたしました。主たる変動要因は、当第2四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益154,956千円による利益剰余金の増加及び配当金の支払による利益剰余金の減少178,182千円等であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期につきましては、2023年2月6日に公表した連結業績予想からの変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	767,040	959,558
関係会社預け金	400,000	300,000
売掛金	1,056,584	835,925
仕掛品	63,022	56,652
前払費用	189,691	121,146
その他	123,488	121,454
貸倒引当金	△3,834	△3,389
流動資産合計	2,595,992	2,391,348
固定資産		
有形固定資産	28,606	29,387
無形固定資産		
ソフトウェア	167,988	185,446
ソフトウェア仮勘定	24,971	31,818
その他	4,830	4,668
無形固定資産合計	197,790	221,933
投資その他の資産	249,832	233,085
固定資産合計	476,228	484,406
資産合計	3,072,220	2,875,755
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	260,154	219,598
リース債務	9,123	10,643
未払金	234,479	141,870
未払費用	155,995	109,017
未払法人税等	63,682	56,779
前受金	35,477	45,163
賞与引当金	39,807	26,055
ポイント引当金	246,720	251,337
その他	103,168	95,843
流動負債合計	1,148,609	956,310
固定負債		
リース債務	7,678	7,058
資産除去債務	3,896	7,009
その他	3,129	2,626
固定負債合計	14,704	16,694
負債合計	1,163,313	973,004
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	299,034	299,034
資本剰余金	392,935	392,935
利益剰余金	1,251,210	1,227,984
自己株式	△46,862	△46,862
株主資本合計	1,896,318	1,873,092
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,828	4,581
為替換算調整勘定	7,759	25,077
その他の包括利益累計額合計	12,588	29,658
純資産合計	1,908,906	1,902,750
負債純資産合計	3,072,220	2,875,755

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年6月30日)
売上高	2,551,201	2,581,930
売上原価	1,345,544	1,343,112
売上総利益	1,205,656	1,238,817
販売費及び一般管理費	942,653	1,034,728
営業利益	263,003	204,088
営業外収益		
受取利息及び配当金	9,426	9,854
補助金収入	5,171	1,846
為替差益	51,301	15,624
その他	909	1,308
営業外収益合計	66,808	28,633
営業外費用		
デリバティブ評価損	-	6,533
支払利息	445	305
投資事業組合運用損	2,972	3,278
その他	-	1,848
営業外費用合計	3,417	11,965
経常利益	326,394	220,756
税金等調整前四半期純利益	326,394	220,756
法人税、住民税及び事業税	98,487	49,494
法人税等調整額	△18,474	16,306
法人税等合計	80,013	65,800
四半期純利益	246,380	154,956
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	246,380	154,956

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	246,380	154,956
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,736	△247
為替換算調整勘定	17,871	17,317
その他の包括利益合計	20,607	17,070
四半期包括利益	266,988	172,026
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	266,988	172,026
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2022年3月18日 定時株主総会	普通株式	137,024	83.97	2021年12月31日	2022年3月22日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年3月22日 定時株主総会	普通株式	178,182	109.14	2022年12月31日	2023年3月23日	利益剰余金

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

当社グループの報告セグメントは「インターネットリサーチ事業」のみであり、その他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

当社グループの報告セグメントは「インターネットリサーチ事業」のみであり、その他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。